

# 平成 30 年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

## 第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

### 1. 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、併せて印旛沼周辺地域の環境保全に資することを目的とする。

### 2. 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人 印旛沼環境基金として、旧民法第 34 条の規定に基づき千葉県知事の設立許可を受けて発足したが、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成 18 年法律第 49 号)」の施行に伴い、千葉県知事に公益財団法人への移行を申請し、平成 26 年 3 月 19 日の認定を経て平成 26 年 4 月 1 日に公益財団法人 印旛沼環境基金に移行した。

## 第2 事業の実施状況

### 1. 事業の概要

平成 30 年度の事業は、平成 30 年 2 月 8 日開催の第 2 回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

### 2. 事業の内容

#### (1) 印旛沼及び流域における調査研究

##### ① 水質調査結果及び各種環境情報等の取りまとめ

平成 29 年度に千葉県が実施した水質汚濁防止法に基づく常時監視及び印旛沼流域の 13 市町がそれぞれ独自に実施した流域の河川・排水路等の水質調査結果等を収集し、取りまとめた。

また、流域市町が行った水環境関連の行事、啓発活動などに関する情報を広く収集するとともに、関係機関等から水質浄化、環境保全関連の資料を収集し、取りまとめた。

これらの結果については、前年度に取りまとめた同調査結果と合わせて、「平成 29・30 年版いんば沼白書」(平成 30 年 12 月発行)に掲載した。

##### ② 外来生物等に関する調査研究

印旛沼及び周辺の生態系への影響が危惧される「特定外来生物」に指定されている水生植物のナガエツルノゲイトウとオオフサモ、及び分布面積を拡大している在来種のオニビシの生息状況調査を市民団体の協力を得て実施した。

調査結果は冊子に取りまとめ、ホームページで公表するとともに、沼や周辺の環境保全対策の資料として、県、流域 13 市町及び関係機関に配布した。

## (2) 講習・学習会及び観察会

### ① 講習・学習会等の講師派遣

流域内の市町、学校等の関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会や、講演会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
H30. 6. 19 (火)	佐倉市立中央公民館	水環境と人間生活	佐倉市教育委員会 (佐倉市民カレッジ)
H30. 7. 13 (金)	佐倉ふるさと広場	印旛沼の概況、歴史	東京湾岸自治体環境保全会議 (関係都県区市町職員)
H30. 9. 9 (日)	佐倉ふるさと広場	印旛沼の概況	東京大学生産技術研究所 (水圏研究室教員・学生)
H30. 10. 11 (木)	佐倉ふるさと広場	印旛沼の概況 水質検査実習	佐倉市立臼井小学校 (4年生及び教師)

### ② 観光船による印旛沼観察会(共催:印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域住民の沼への関心を高めるため、観光船による沼や周辺の自然環境の観察と、学習室における沼の概況や歴史に関する解説を行った。

平成30年7月26日(木)に開催し、参加者は113名(うち子ども8名、関係者を含む)。

### ③ 親子で学ぼう印旛沼

流域の市町のそれぞれに在住する親子を対象に、沼への関心を高めるため、観光船による沼や周辺の自然環境の観察と、学習室における水質検査の体験学習を行った。

ア) 佐倉市と共催

平成30年5月19日(土)に実施、参加者は10家族32名(うち子ども16名)

イ) 八千代市と共催

平成30年8月18日(土)に実施、参加者は18家族48名(うち子ども27名)

ウ) 酒々井町と共催

平成30年8月20日(月)に実施、参加者は7家族19名(うち子ども9名)

エ) 印西市と共催

平成30年8月22日(水)に実施、参加者は12家族37名(うち子ども22名)

### ④ 印旛沼公開講座(共催:佐倉市)

「かつてのいんば沼を語る」を基本テーマとし、印旛沼や周辺で永年にわたり農業や漁業を生業とし、また生活を営んできた方々を講師に招き、3回の講座を開催した。

・開催場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール

・対象：印旛沼流域内外の住民

・座長：各回とも本橋敬之助((公財)印旛沼環境基金上席研究員)

回	開催日	テーマ	講師(所属)	聴講者数
第1回	H30. 8. 4 (土)	かつてのいんば沼を語る —農業と洪水—	飯塚 昭一 (印西市在住) 大沼 政行 (栄町在住) 出山 耕子 (印西市在住)	34名
第2回	H30. 9. 1 (土)	かつてのいんば沼を語る —沼の姿と漁—	石井 正美 (佐倉市在住) 出山 輝夫 (印西市在住) 平山 孟夫 (印西市在住)	53名
第3回	H30. 10. 6 (土)	かつてのいんば沼を語る —生活と風習—	出山 耕子 (印西市在住) 武田 一広 (佐倉市在住) 吉岡 敏夫 (印西市在住)	53名

(所属：平成31年3月31日現在)

### (3) 啓発・宣伝

#### ① ホームページの公開

インターネットを利用して印旛沼環境基金の活動や予定行事、印旛沼及び流域の環境保全等に係わる最新の情報を広く流域の住民に伝えるとともに、他団体との情報交換や交流を目的に、ホームページの情報を随時更新し公開した。

#### ② 「水辺の風景画コンクール」(第21回)の開催

印旛沼流域内の小・中学校の児童及び生徒の水環境への関心を醸成するため、印旛沼及び流域の河川等や他地域で見たり触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集・審査し、選考した作品を佐倉市立美術館で展示した。さらに入賞作品のうち、佳作10点を除く最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞の計15点については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、佐倉市立美術館における展示期間中(5日間)の来館者は、延べ1,014名であった。

- ・応募学校数： 132校 (小学校： 110校、中学校： 22校)
- ・応募作品数： 1,809点 (小学校： 1,583点、中学校： 226点)
- ・展示作品数： 498点 (小学校： 436点、中学校： 62点)
- ・表彰： 最優秀賞 1点： 田口 柊真 (印西市立西の原小学校4年生)  
優秀賞 2点： 内山 修一 (八街市立二州小学校6年生)  
鳥羽 望央 (佐倉市立井野小学校1年生)

市町長賞 12点 (鎌ヶ谷市長賞該当なし)

- ・表彰式：平成30年10月28日(日)「佐倉市立美術館・4階ホール」
- ・展示会場：佐倉市立美術館3階展示室
- ・展示期間：平成30年10月24日(水)～10月28日(日)
- ・巡回展示：流域13市町(展示期間：各市町5日間程度)

平成30年11月8日(木)～平成31年3月1日(金)

(上記のほか、平成30年11月3日(土)に開催した「いんば沼フォーラム」において会場ロビーに展示)

### ③ 刊行物等の展示・配布

印旛沼流域住民に印旛沼の現状と重要性の理解を深めてもらえるよう、当基金が主催する公開講座・助成事業成果報告会や県・市町が開催する各種行事等において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、または有償頒布した。

さらに、特定外来生物問題に対する関心を高めるため、当基金が作成した印旛沼で捕獲されたカミツキガメの剥製を、各種行事で展示したほか市民団体に貸し出し関係行事で展示した。

### ④ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形式	発行部数	備考
H30. 5月	雑誌「いんば沼」(第39号)	A4判8頁	4,000	委託印刷
H30. 12月	平成29・30年版 いんば沼白書	A5判186頁	250	委託印刷
H30. 12月	いんば沼のはなし (「いんば沼白書」から抜粋)	A5判90頁	4,000	委託印刷

## (4) 環境保全団体等への助成

印旛沼及び流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学及びNPO法人を含む一般市民団体等を対象に、その活動を支援するため助成金を交付し、その成果についての報告会を開催した。

### ① 助成対象の団体

小学校4校、高等学校1校、NPO法人を含む一般市民団体6団体の計11団体

### ② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校及び団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

ア) 開催

- ・ 日時：平成31年1月25日(金) 9時15分～14時40分
- ・ 場所：印旛合同庁舎 2階大会議室

イ) 講師：

山下 博樹(千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事)  
古嶋 美文(千葉県印旛沼流域水循環健全化会議 学びWG 座長)  
高山 順子(千葉県立中央博物館庶務部企画調整課 主任上席研究員)  
本橋 敬之助((公財)印旛沼環境基金 上席研究員)

但し、所属及び職名は平成31年1月25日現在

ウ) 参加者：59名(講師、関係者を除く)

エ) 報告の課題名と団体

題 名	団 体
1 わたしたちの印旛沼 ～今・昔・未来～	佐倉市立臼井小学校
2 印旛沼 新発見!	佐倉市立染井野小学校
3 印旛沼のふるさと 船穂の里山	印西市立船穂小学校
4 富里市の自然を守る ～ホテル・高崎川・スイカ～	富里市少年少女の翼実行委員会
5 桑納川の下流および新川との合流地点の水質汚濁調査	千葉英和高等学校生物研究部
6 印旛沼流域の水環境保全に関する啓発活動	NPO 法人水環境研究所
7 二重川の清掃活動・観察会・鯉のぼり掲揚の拡充	二重川に親しむ会
8 印旛沼植生調査と市民への情報発信	佐倉印旛沼ネットワークの会
9 里山保全と里山における自然観察等の活動	里山の会 ECOMO
10 印旛沼流域鹿島川における自然環境調査を通じた社会人向け環境教育の推進	NPO 法人環境・地理探訪クラブ
11 八千代新川千本桜育成環境維持活動	新川千本桜の会

## (5) フォーラムの開催

印旛沼流域住民等に沼に対する愛着と理解を一層深めてもらうため、以下のとおり「いんば沼フォーラムーいんば沼の歴史と文化ー」を開催した。

なお、座談内容の概要は、次回発行の「いんば沼白書」に掲載する予定である。

- ・日時：平成30年11月3日(土)：13:00～16:30
- ・会場：ウイシュトンホテル・ユーカーリ 5階ロイヤルウイシュトン
- ・後援：印旛沼水質保全協議会、印旛沼流域水循環健全化会議、  
(独)水資源機構千葉用水総合管理所
- ・プログラム
  - 【第1部 基調講演 13:10～14:00】
    - テーマ：「いんば沼の水と生きものたちー変化と因由ー」
    - 講師：本橋 敬之助 ((公財) 印旛沼環境基金 上席研究員)
  - 【第2部 座談会 14:10～16:25】
    - テーマ：「いんば沼に育まれた文化」
    - 座長：内田 儀久 (佐倉市史編さん委員)
    - 講師：小倉 博 (成田市文化財審議委員会委員長)  
 鏑木 行廣 (元成田高等学校教員)
    - オブザーバー：本橋 敬之助 ((公財) 印旛沼環境基金 上席研究員)
- ・参加者：83名